

政務調査費は このように 使われました

政務調査費とは、議員が通常の議会活動とは別に、それぞれの会派または議員個人が、議員としての知識向上や見聞を広めたり、資質向上を図るために交付される調査研究費です。

幸田町では平成16年4月から交付されています。

交付される対象は議員全員で、交付額が年額60,000円(1人当たり)となっています。その用途は研究研修費、調査旅費、資料費、広報費、公聴費等に限定され、収支報告書にはすべての証拠書類等の写しを添えて報告することとなっています。

平成20年度の収支の主な内容は、次のとおりです。

会 派 等	所属議員名	事業費(円)	政務調査費 交付額(円)	主 な 使 途	調 査 内 容
新政クラブ	下表のとおり	626,256	600,000	調査研究視察費 (岡山県瀬戸内市・ 笠岡市)	・ 障害者総合在宅支 援施設「せとうち 旭川荘」 ・ リサイクルプラザ
日本共産党 幸田町議員団	下表のとおり	116,535	120,000 (内3,465円返金)	調査研究視察費 (長野県茅野市・原 村・軽井沢町・秋田 県小坂町・北秋田市) 資料購入費 「住民と自治」	75 歳以上の医療費 無料化 所得制限なしの無料 化実施 バイオマス事業 介護福祉について
—	笹野 康男	66,029	60,000	新政クラブと同じ	新政クラブと同じ
—	黒柳 広治	69,548	60,000	調査研究視察費 (石川県珠洲市)	里山再生事業 ①松くい虫被害対策 ②松茸発生誘導施業
—	水野千代子	62,266	60,000	調査研究視察費 (神奈川県厚木市・ 千葉県習志野市・大 多喜町・東京都板橋 区)	①サイクルアンドバ スライド ②父子家庭支援手当 ③都市農村交流施設 など
—	酒向 弘康	60,115	60,000	資料購入費 「地方議会議員活動 データファイル・ 地方自治体情報誌 ほか」	全国自治体の独自性 ある事業や施策に関 する収録情報の調査 研究

所属議員名簿

新政クラブ	内田 等・大須賀好夫・杉浦 務・鈴木修一・夏目一成・鈴木博司・足立嘉之・ 鈴木三津男・池田久男・大嶽 弘
日本共産党幸田町議員団	伊藤宗次・丸山千代子